

自己免疫性胃炎と診断された皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2025年1月21日

① 対象者	2013年1月～2022年3月に内視鏡検査をうけ、自己免疫性胃炎と診断された方			
② 研究課題名	自己免疫性胃炎の内視鏡的萎縮分類と臨床病期に関する多機関後ろ向き観察研究			
③ 実施予定期間	倫理委員会承認後 ～2025年12月			
④ 実施機関	藤枝市立総合病院 消化器内科			
⑤ 研究代表者	氏名	寺尾 秀一	所属	加古川中央市民病院 消化器内科・内科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	丸山 保彦	所属	藤枝市立総合病院 消化器内科
⑦ 使用する検体・データ	電子カルテ情報、内視鏡画像			
⑧ 目的	自己免疫性胃炎(AIG)は胃に存在する壁細胞に関連する自己免疫性反応によって胃に障害をもたらす疾患です。近年本邦でも病初期から終末期にいたると考えられる様々な段階のAIG患者さんが発見されるようになってきました。この疾患の進行度・重症度は内視鏡的に残存胃底腺(比較的萎縮の少ない粘膜)をもって把握できるのではないかと考え、この研究を行うことに致しました。これによって同じ疾患をもつ患者さんに対して、毎回生検を行わなくても、胃腫瘍、貧血、神経障害その他の合併症が今後どの程度発生するか、といった情報を提供できると考えています。そこで今回は各段階における合併症や血液データ、組織所見をしらべ、今後のAIG患者さんの治療に役立てる事目的とします。			
⑨ 方法	当院で上記期間内にAIGと診断された患者さんの内視鏡画像を進行度別に分類し、血液データと合併症、組織所見を調べます。AIG患者さんの過去の診療録から要な情報を収集し、あらたに追加検査や投薬行うことはありません。研究への参加は患者さんの自由意志であり参加しなくても不利益はありません			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025年1月20日		
	病院長承認日	2025年1月20日		
⑪ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬ 知的財産権	本研究により生じる特許、その他知的財産に関する権利(特許権)は、研究者に属します。			
⑭ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	消化器内科	電話	054-646-1111
	上記連絡先にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 ※情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、恐れ入りますが2025年12月31日までにご連絡をお願いします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。